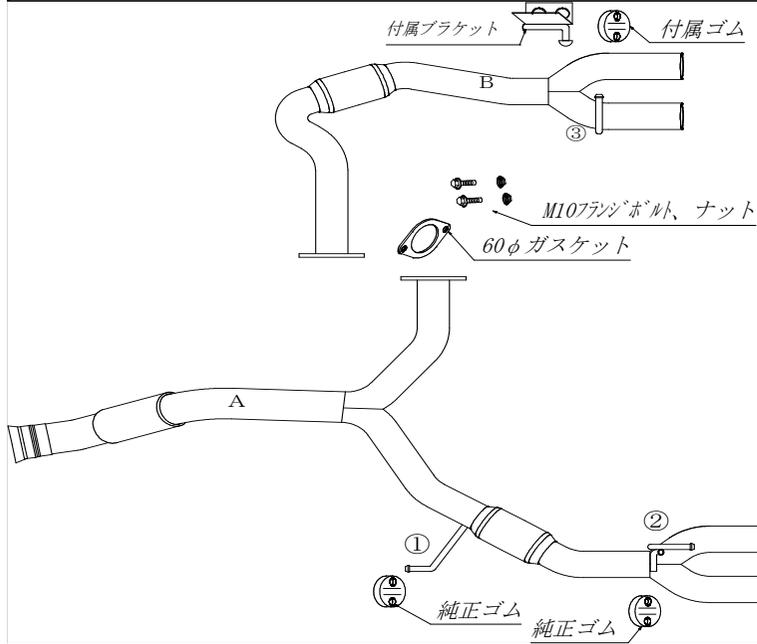


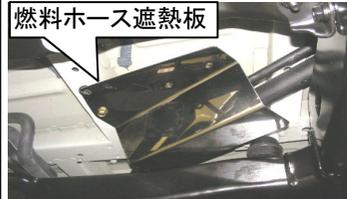
☆ご注意ください。
記載の適合型式以外への取付は、新規制対象外

新規制対応品

製品名称	製品番号	車名	車両型式	エンジン型式	構成部品及び付属品リスト
M'z SPEED	MZ-74	LX570	DBA-URJ201W	3UR-FE	品名 数量



スぺアタイヤオフセットスペーサー



取り外し純正カプラー
固定用ステー



2017/8以降車両カプラー固定画像

本体(A)	1
本体(B)	1
本取扱説明書	1
付属ゴム(002)	1
付属ブラケット	1
60φガスケット	1
M10X35 ボルト	2
M10フランジナット	2
スぺアタイヤオフセットスペーサー	1
M8X35フランジボルト	1
M8フランジナット	1
付属 遮熱板	1
M8X15フランジボルト	1

最低必要工具

メガネレンチ	14mm	12mm
ソケットレンチ	14mm	12mm
トルクレンチ		

組付作業手順

装着作業は専門の整備工場などに依頼してください。
【(1)ご使用前に】を十分に理解した上で作業を実施してください。
※装着作業は必ず2名以上で行なってください。
※文中の純正とは自動車メーカーの標準装着品の意味

警告!

作業中の怪我・火傷

1. 「スぺアタイヤオフセットスペーサー取り付け」

スぺアタイヤを一旦外し、スぺアタイヤストッパーにスぺアタイヤオフセットスペーサーを、M8X35フランジボルト、ナットにて固定する。(右上の画像を参照に)

2. 「本体(A)の仮組付け」

本体(A)の取付けブラケット①②を純正吊下げゴムに差込み、純正マフラーと本体(A)を純正マフラーバンドで仮締め付けして下さい。
最後に右側フレームの燃料パイプ配管を保護する為に、付属遮熱板をフレームにある純正M8穴を利用し付属フランジボルト(M8X15)で取付けて下さい。(右上の画像を参考に)

3. 「本体(B)の仮組付け」

最初に、車両後方右の牽引フックを取り外し純正ボルトで付属ブラケットに交換して下さい。

※ 2017/8～のモデルは、付属ブラケット取付時に添付画像の純正カプラー固定用ステーを取り外していたカプラーを別売インシュロック等で固定して付属ブラケットを取付けて下さい。

次に、付属ブラケットに付属ゴムを差し込んで下さい。

本体(B)の取付ブラケット③を付属ゴムに差込み、本体(B)フランジと本体(A)フランジの間に付属ガスケット(60)を挟み、付属フランジボルト(M10X35)フランジナット(M10)で仮締め付けして下さい。

4. 「全体の本組み付け」

本体(A)(B)及び出口の位置関係や自動車の床、その他周辺部品とのクリアランス及びフランジ間のガスケットのずれを確認しながら前から順番に指定トルクで締め付けてください。
(締め付けトルク400～500Kgf.cm)

テールパイプと自動車のバンパーの位置関係、クリアランスを確認してください。不具合がある場合は最初から締め直してください。クリアランス不足を放置すると異常な音が出たり、樹脂バンパーの場合熱で溶けたりします。

5. 「装着状態の確認」

全体の本組み付けが完了したら、もう一度マフラーを手で揺すって各部のクリアランスを確認してください。エンジンを始動して暖機し、約2500回転にして各フランジからの排気漏れ、各部の異常音を点検して下さい。運転して再度、各フランジからの排気漏れ、又は各部の異常音を点検してください。異常があれば、最初から装着をやり直して下さい。

《異常があれば、面倒でも最初からやり直して下さい。》

以上で当社マフラーの装着が完了しました。もう一度本取扱説明書をよく読んで安全で快適なドライブをしましょう。

お願い!

装着後200～300km走行した後にもう一度各部のボルト類の増し締めと、各フランジ間のガス漏れの点検をして下さい。

2018/7/13 修正

製品番号 : MZ74

レクサス LX570 DBA-URJ201W

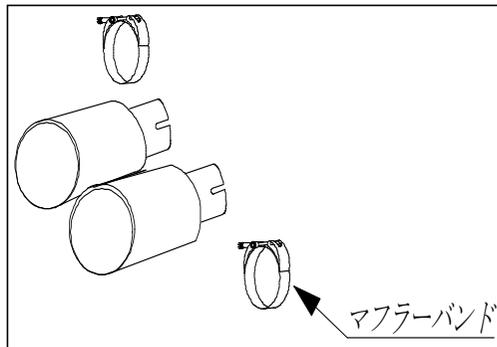
◎専用マフラーカッターの組付け

パイプの先端に、専用マフラーカッターを差込み、リアバンパーの先端から出ないように調整してマフラーバンドで締付けして下さい。

構成部品及び付属品リスト

マフラーカッター本体 : 4本 テールサイズ

専用マフラーバンド : 4個 100φ x150mm



ご注意!

◎ マフラーカッターと自動車のバンパーの位置関係、クリアランスを確認して下さい。
不具合がある不具合がある場合は最初から締め直して下さい。クリアランス不足を
放置すると異常な音が出たり、樹脂バンパーなどが熱で溶けたりすることがあります。

お願い!

装着後200~300km走行した後にもう一度各部の
ボルト類を増し締め及び点検を行って下さい。